

# 会議・ 打合せ等記録

報告日：令和3年1月25日

名 称	令和2年度第2回鹿沼市使用料手数料等審議会		
日 時	令和3年1月22日（金）10時00分～11時00分		
場 所	鹿沼市御殿山会館大会議室		
出 席 者	委員：山賀、柴田、横尾、加藤、山崎、奈良部、武井、中新井、岩出、福田、石澤、佐藤、阿部		
	事務局：財政課・南雲部長、秋澤課長、半田係長、清水		
	担当部局：財務部税務課、市民部市民課、教育委員会事務局スポーツ振興課		
	都市建設部建築指導課、経済部観光交流課		
	1 開会：秋澤課長 ・15名中13名の委員の出席により、会議成立。		
	2 市長挨拶：佐藤市長		
	3 新委員紹介：秋澤課長		
	4 審議会への諮問 ・佐藤市長より山賀会長へ「5審議事項」4件について諮問		
	5 審議事項		
	(1) 証明事務手数料（改定）：鈴木課長 ・原案どおり可決（質疑応答は別紙のとおり）		
	(2) 建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料等（改定）：奈良課長 ・原案どおり可決（質疑応答は別紙のとおり）		
	(3) 鹿沼市都市公園使用料（新設）：谷津課長 ・原案どおり可決（質疑なし）		
(4) 前日光つつじの湯交流館使用料：竹澤課長 ・原案どおり可決（質疑応答は別紙のとおり）			
6 山賀会長より福田副市長へ4件の料金について、「適正」と答申。			
7 閉会：秋澤課長			
配布資料	令和2年度第2回鹿沼市使用料手数料等審議会 資料		
次回予定	未定		
記 録 者	財政課 清水主任主事		
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況 (該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開	<del>非公開</del>	(公開の場合) 傍聴人数
			0人

## 質疑応答記録

## 5 審 議 事 項

### (1) 証明事務手数料 (改定)

佐藤委員：手数料を 50 円引き下げることにより、どの程度のコンビニ交付件数の伸びを見込んでいるか。また、窓口に係る経費が削減されることで市民への還元があると考えて良いか。

鈴木課長：約 3,000 件を見込んでいる。(令和元年度実績は 1,691 件)。現状の窓口サービスである、転入転出や出生死亡届など、窓口の混雑が緩和されることにより待ち時間を短時間にできると考えている。それにより市民サービスの向上が図れる。

阿部委員：交付手数料を下げる事自体はいいが、窓口での手数料と差がついてしまうことについて、不公平感が出てしまうのではないかと個人的には思っている。

鈴木課長：委員の意見も確かにそうであるが、今は手続きする場所を市役所からコンビニに誘導する事により、市民の利便性の向上、コロナ対策として密を避けることが重要と捉えていることを了解いただきたい。

加藤委員：ICT など詳しくなく、お金の動きが分からないところで恐縮ではあるが、150 円ではなく 100 円まで値下げする事はできるのか。

吉田係長：利用者数がまだ少ないこと、一人あたりにかかる最低の経費 (117 円) があるため、これ以上の値下げは難しいと考える。

横尾委員：マイナンバー取得率の各市の状況についてわかる範囲で教えていただきたい。

鈴木課長：小山市が最も高く 26.4%、次いで真岡市、大田原市の順である。鹿沼 18.6% で 14 市中 12 位となっている。

### (2) 建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料等 (改定)

佐藤委員：県内統一価格という事で良いか。

奈良課長：そのとおり。

加藤委員：建築物エネルギー消費性能適合性判定手数料について、300 m<sup>2</sup>未満がないのはなぜか。

高久係長：元々 300 m<sup>2</sup>未満は対象外となっているが、増築等で 300 m<sup>2</sup>以上になる場合は 1,000 m<sup>2</sup>未満の対象になる。下表の認定申請手数料については、300 m<sup>2</sup>未満でも任意で申請できるため設定されている。

### (4) 前日光つつじの湯交流館使用料 (改定)

阿部委員：日光市では市内利用者と市外利用者で利用料に差を付けているが、そのような考えはあるか。

竹澤課長：日光市の施設は市民からも利便性が良く利用率が高いため差をつけているようだが、本市においては市外利用者が 8 割を占めている。以前料金改定をしたときに、元々差を付けていたのを安い方で同額とした経緯もあることから、差を付けることは考えていない。

加藤委員：中学生などの障害児は、どちらの料金になるか。

竹澤課長：障害者手帳、療育手帳の有無により判断させていただくことになる。

横尾委員：31年度の来館者数がかかなり減っている。100円の値上げでは追い付かないのでは。

竹澤課長：31年度の利用者数が少ないのはコロナの影響で休館した影響が大きい。できることならもっと上げたいが市民負担が大きくなることから100円の値上げとした。

武井委員：市外、県外からの利用者はどの辺りから来るのが多いか。

竹澤課長：県内が約5割を占めており、宇都宮、小山、佐野、足利、栃木、下野市あたりが多い。県外が約3割で埼玉県、茨城県、千葉県あたりが多い。

福田委員：配管を保温性の高い物に敷設し直すなど、加温するための経費を削減する事は可能か。

竹澤課長：保温性の高い配管にすることは可能であるが、経費が膨大にかかることが想定される。とはいえ燃料費がかかなりかかっているのも事実であるため、検討はしていきたい。